

- 問1 当時の戦いの様子を記録した「蒙古襲来絵詞」という史料には、日本軍と元軍の戦法や兵器の違いが詳しく描かれています。元軍が用いた、日本の武士を苦しめた戦い方の特徴として、最も適切なものはどれですか。 (2025年 茨城県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------------------|--------------------------------|---------------------------------------|--|
| 1. 山林に潜伏して敵を待ち伏せし、弓矢で遠距離から攻撃するゲリラ戦法 | 2. 名乗りを上げてから一対一で戦う、伝統的な一騎打ちの戦法 | 3. 鉄砲を主力兵器として活用し、三段構えの陣形を組んで一斉射撃を行う戦法 | 4. 太鼓やドラの合図で集団が組織的に動く戦法や、火薬を用いた「てっほう」の使用 |
|-------------------------------------|--------------------------------|---------------------------------------|--|
- 問2 日本が鎌倉時代であった13世紀ごろの世界の情勢を説明した文として、正しいものはどれですか。 (2015年 山口県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 秦の始皇帝が初めて中国を統一し、中央集権的な国家体制を整えて万里の長城を修築した。 | 2. フランスで市民が蜂起して絶対王政を倒し、自由と平等を掲げる人権宣言が採択された。 | 3. チンギス・ハンがモンゴルの諸部族を統一し、中央アジアを征服して広大なモンゴル帝国を築いた。 | 4. コロンブスが大西洋を横断してカリブ海の島に到達し、ヨーロッパ人がアメリカ大陸へ進出するきっかけを作った。 |
|--|---|--|---|
- 問3 鎌倉時代において、源頼朝の死後に幕府の実権を握った北条氏が代々世襲した、将軍に代わって政治を司る役職を何というか、次の中から選びなさい。 (2018年 茨城県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| 1. 老中 | 2. 関白 | 3. 管領 | 4. 執権 |
|-------|-------|-------|-------|
- 問4 鎌倉幕府において、将軍と主従関係を結んだ武士を何と呼びますか。また、彼らが地方の軍事・警察の職務を担うために、国ごとに置かれた役職として正しい組み合わせを選びなさい。 (2020年 鳥取県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------|----------|-----------|----------|
| 1. 御家人と地頭 | 2. 足軽と守護 | 3. 御家人と守護 | 4. 足軽と国司 |
|-----------|----------|-----------|----------|
- 問5 鎌倉幕府が出した永仁の徳政令の内容において、御家人以外の武士や庶民が御家人から買い取った領地の扱いを正しく説明したものはどれですか。当時の法令の記述内容に基づき選びなさい。 (2017年 静岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 御家人が土地を取り戻すためには、売却時の代金に利息を加えた金額を買い手に支払わなければならない | 2. 土地が売買されてから20年以上が経過している場合に限り、買い手の所有権が継続して認められる | 3. 幕府が土地の代金を肩代わりして支払うことで、元の持ち主である御家人に土地を返還させる | 4. 売買されてからの年数に関係なく、買い手は無償で元の持ち主である御家人に土地を返さなければならない |
|--|--|---|---|
- 問6 鎌倉時代の社会制度において、地頭が行った活動の説明として最も適切なものはどれですか。 (2015年 岡山県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------|------------------------------------|----------------------------------|--------------------------------|
| 1. 荘園や公領の管理を行い、年貢の徴収や警察活動を担当した。 | 2. 国ごとに置かれ、軍事や警察の職務を通じて国内の武士を統制した。 | 3. 徳政令を求める土一揆を鎮めるため、村の自治組織を指導した。 | 4. 備中鍬などの農具を普及させ、新田開発を積極的に進めた。 |
|---------------------------------|------------------------------------|----------------------------------|--------------------------------|
- 問7 13世紀にフピライ・ハンに仕えたマルコ・ポーロは、著書『世界の記述（東方見聞録）』の中で日本を「黄金の国ジパング」として紹介しました。この記述がなされた鎌倉時代よりも前、12世紀の平安時代末期に奥州藤原氏によって建立され、建物全体に金箔が施されていることからマルコ・ポーロの伝聞の根拠の一つになったとも考えられている建築物を選びなさい。 (2022年 栃木県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|--------|-----------|----------|
| 1. 鹿苑寺金閣 | 2. 安土城 | 3. 中尊寺金色堂 | 4. 慈照寺銀閣 |
|----------|--------|-----------|----------|
- 問8 1232年、鎌倉幕府の3代執権であった北条泰時は、武家社会でそれまで行われていた慣習などをまとめ、日本で最初となる武士のための法律を制定しました。この法律の名称として正しいものを、次のうちから選びなさい。 (2016年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------|-------------|----------------|----------|
| 1. 公事方御定書 | 2. 禁中並公家諸法度 | 3. 御成敗式目（貞永式目） | 4. 武家諸法度 |
|-----------|-------------|----------------|----------|
- 問9 1221年に起きた承久の乱の後、鎌倉幕府の支配がそれまでの東国中心から、西日本にまで大きく広がった理由として最も適切な説明はどれですか。 (2019年 鳥根県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 上皇側に味方した貴族や武士の所領を幕府が没収し、そこに多くの地頭を新たに任命したため。 | 2. 朝廷が幕府の軍事力を認め、西日本の統治権をすべて将軍に譲り渡す宣言を出したため。 | 3. モンゴルの襲来に備えるため、西日本の武士たちが自発的に幕府の傘下に入ったため。 | 4. 執権の北条氏が、天皇に代わって京都で政治を行う「公家政権」を新たに樹立したため |
|--|---|--|--|
- 問10 13世紀、モンゴル帝国の皇帝が国号を「元」と定めて日本に従属を求める使者を送りましたが、当時の鎌倉幕府の執権はこれを拒絶する姿勢を貫きました。この時の執権として正しい人物を選んでください。 (2019年 茨城県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|------------|---------|---------|
| 1. 北条政子 | 2. チンギス・ハン | 3. 北条時宗 | 4. 足利尊氏 |
|---------|------------|---------|---------|
- 問11 鎌倉時代初期、相次ぐ飢饉や火災、戦乱といった社会の混乱を背景に、世の中のすべては移り変わるという「無常観」を綴った随筆として適切なものはどれですか。 (2018年 山形県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|----------|--------|
| 1. 徒然草 | 2. 方丈記 | 3. 古今和歌集 | 4. 枕草子 |
|--------|--------|----------|--------|
- 問12 「モンゴル帝国の元への改称」、「ヴァスコ・ダ・ガマのインド到達」、「イギリスでの権利の章典制定」という3つの歴史的事象のうち、日本の鎌倉時代に起こった出来事として適切なものを選びなさい。 (2018年 埼玉県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------------------------|------------------------|-------------------------------|---------------------------------------|
| 1. モンゴル帝国が国号を元と改め、都を大都に移した。 | 2. マゼランの船隊が世界周航を成し遂げた。 | 3. ヴァスコ・ダ・ガマが喜望峰を回ってインドに到達した。 | 4. イギリス（イングランド）で名誉革命が起こり、権利の章典が制定された。 |
|-----------------------------|------------------------|-------------------------------|---------------------------------------|
- 問13 13世紀後半、元寇における軍役の負担や貨幣経済の浸透により、鎌倉幕府に仕える武士たちが経済的に困窮する事態となりました。この状況を改善するために、1297年に幕府が出した法令の内容とその背景として最も適切なものはどれですか。 (2025年 茨城県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 異国船の来航による混乱を防ぐため、海岸に近づく外国の船をためらわずに撃退するよう各地の役人に命じた。 | 2. 元寇が防衛戦であり恩賞として与える土地が不足していたため、生活に苦しむ御家人の借金を帳消しにさせた。 | 3. 明との正式な貿易を開始して幕府の財政を立て直すため、特定の商人にのみ貿易の独占権を与えた。 | 4. 大名の勢力を統制し武士の規律を正すため、城の無断修理や勝手な婚姻を禁止する厳しい基準を設けた。 |
|---|---|--|--|
- 問14 鎌倉時代後半に登場した「悪党」と呼ばれる勢力について、その行動や背景として正しい説明はどれですか。 (2024年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--------------------------------------|--|-------------------------------------|
| 1. 荘園領主の権威を借りて、農民から不当に多くの年貢を取り立てる幕府役人であった。 | 2. 武力を背景に年貢の納入を拒むなど、荘園領主や幕府の支配に対抗した。 | 3. 幕府の命令に従い、モンゴルの襲来に備えて石築地を築いた武士団であった。 | 4. 天皇の命令を受けて、九州沿岸の警備を専門に行う軍事組織となった。 |
|--|--------------------------------------|--|-------------------------------------|

答え合わせ・解説

問1	答え 4 太鼓やドラの合図で集団が組織的に動く戦法や、火薬を用いた「てつほう」の使用	日本の武士は是一对の名誉ある戦いを重んじていましたが、元軍は集団で行動し、音による合図で組織的な攻撃を行いました。また、「てつほう」と呼ばれる火器は、爆発音と煙で日本の武士や馬を驚かせ、大きな脅威となりました。このような戦術の違いは、当時の絵画資料において、馬上の武士に対して集団で立ち向かう元軍の姿や、空中で爆発する兵器の描写から読み取ることができます。
問2	答え 3 チンギス・ハンがモンゴルの諸部隊を統一し、中央アジアを征服して広大なモンゴル帝国を築いた。	13世紀初頭、チンギス・ハンによってモンゴル帝国が成立すると、その勢力は中央アジアから東ヨーロッパ、中国（元）にまで及びました。この帝国の出現は、日本における元寇（モンゴル襲来）の遠因となるなど、当時の東アジアからヨーロッパに至るまでの国際情勢に決定的な影響を与えました。
問3	答え 4 執権	鎌倉幕府を開いた源頼朝の死後、有力な御家人であった北条氏が政治の主導権を握りました。北条氏は将軍を補佐しつつ、実際には幕府の最高責任者として振る舞う「執権」という立場を世襲し、北条泰時の時代に制定された御成敗式目などを通じて独自の政治体制を確立しました。
問4	答え 3 御家人と守護	鎌倉幕府の組織において、将軍に忠誠を誓った武士は御家人と呼ばれました。将軍は彼らに対し、所領の支配を認めたり、新たに土地を与えたりする「御恩」を与え、御家人はそれに対して軍役などの「奉公」を行いました。幕府の地方組織として、国ごとに置かれた守護は軍事や警察の役割を、荘園や公領ごとに置かれた地頭は年貢の徴収や土地の管理を担当しました。
問5	答え 4 売買されてからの年数に関係なく、買い手は無償で元の持ち主である御家人に土地を返さなければならない	永仁の徳政令では、御家人が売却した領地について、買い手が御家人の場合は「売却から20年未満」であれば返還対象とされましたが、買い手が御家人以外（武士や庶民）の場合は、売却してからの期間に関わらず無条件で返還することが命じられました。このような強力な措置は、かえって金融の停滞を招き、御家人が借金でできなくなるという逆効果を生みました。
問6	答え 1 荘園や公領の管理を行い、年貢の徴収や警察活動を担当した。	鎌倉幕府によって任命された地頭は、個別の荘園や公領（国衙領）を単位として配置されました。彼らの主な任務は、現地の管理、年貢の徴収、そして治安維持などの警察活動です。国ごとに1人置かれた「守護」の役割（軍事・警察）や、江戸時代に普及した「備中掟」、室町時代に盛んになった「土一揆」や「村の自治」とは、時代や役割が異なります。
問7	答え 3 中尊寺金色堂	奥州（現在の岩手県）を拠点とした奥州藤原氏が、豊富に産出された金を背景に建立したのが中尊寺金色堂です。マルコ・ポーロが「宮殿の屋根がすべて純金で覆われている」といった誇張を交えて日本を紹介した背景には、こうした東北地方の黄金文化の噂が元に伝わっていたという説があります。選択肢にある金閣は室町時代、安土城は安土桃山時代の建築物のため、マルコ・ポーロの時代には存在しません。
問8	答え 3 御成敗式目（貞永式目）	北条泰時が制定した御成敗式目は、それまでの先例や武家社会の慣習（道理）を基準としてまとめられました。これは、御家人同士の領地をめぐる争いを公正に裁くための裁判の基準を示すことを目的としていました。江戸時代の大名を統制するための武家諸法度や、裁判の基準をまとめた公事方御定書と混同しないよう注意が必要です。
問9	答え 1 上皇側に味方した貴族や武士の所領を幕府が没収し、そこに多くの地頭を新たに任命したため。	承久の乱で後鳥羽上皇の倒幕計画が失敗に終わると、鎌倉幕府は敗北した上皇方の領地（約300か所）を没収しました。それらの土地に、功績のあった御家人を「新補地頭（しんぼじとう）」として配置したことで、幕府の影響力は西日本まで及ぶようになりました。これは、東国を基盤としていた幕府が全国的な支配権を確立する大きな転換点となりました。
問10	答え 3 北条時宗	鎌倉幕府の第8代執権であった北条時宗は、元の皇帝フビライ・ハンからの通告を無視、あるいは拒否し、九州沿岸の警備を強化して対決姿勢を鮮明にしました。これが1274年の「文永の役」へとつながります。チンギス・ハンはモンゴル帝国の初代皇帝であり、足利尊氏はのちに室町幕府を開く人物です。
問11	答え 2 方丈記	この作品は鴨長明によって執筆されました。平安時代末期から鎌倉時代初期にかけての激動の時代において、自然災害や源平の争乱を目の当たりにした著者が、世の無常さと執着を捨てた生活を表現した中世随筆の先駆けです。
問12	答え 1 モンゴル帝国が国号を元と改め、都を大都に移した。	フビライ・ハンによる元の成立は1271年の出来事であり、日本では鎌倉時代の北条時宗が執権を務めていた時期にあたります。これに対し、ヴァスコ・ダ・ガマのインド到達は15世紀末（室町時代）、イギリスの権利の章典制定は17世紀末（江戸時代）の出来事であり、それぞれ時代が異なります。
問13	答え 2 元寇が防衛戦であり恩賞として与える土地が不足していたため、生活に苦しむ御家人の借金を帳消しにさせた。	元寇は外国からの侵略を退ける防衛戦であったため、幕府は敵から奪った土地を御家人に恩賞として十分に分配することができませんでした。さらに、この時期には貨幣経済が広まっており、軍費の負担で借金を抱える武士が急増していました。鎌倉幕府はこうした御家人の困窮を救うために「永仁の徳政令」を出し、御家人が売却したり質に入れたりした土地を無償で取り戻させ、借金を帳消しにする措置をとりました。
問14	答え 2 武力を背景に年貢の納入を拒むなど、荘園領主や幕府の支配に対抗した。	貨幣経済の発展や分割相続による生活の困窮を背景に、従来の幕府の統制に従わない武士や地主層が現れました。彼らは荘園領主への年貢納入を拒否したり、幕府の役人と武力で衝突したりするなど、既存の支配構造を実力で打破しようとしていました。こうした悪党の活動は、幕府の権威失墜と衰退を象徴する出来事といえます。